



**関係する地方公共団体等の意見**

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、まちづくりの支援、地域経済の発展などが期待されており、雲南市市長はもとより、商工会、工業団地振興会、J A、消防団、住民による協議会など様々な団体から早期整備の要望を受けている。

島根県知事の意見：対応方針（原案）については妥当である。

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、地域経済の発展などに寄与する事業である。県や市の関連する事業なども実施してきたところであり、雲南市三刀屋町三刀屋から市道要害1号線までの区間の円滑な交通と交通安全の確保を図るため整備を促進していただきたい。

**事業評価監視委員会の意見**

- ・ 事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・ 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**

三刀屋拡幅沿線部では、商業施設等も立地し、市街化が進展しており、人口も増加傾向である。段階的に4車線化しており、ボトルネックとなっていた里熊大橋の渋滞が解消した。

**事業の進捗状況、残事業の内容等**

令和2年3月末時点で、事業全体の進捗率は78%、用地の進捗率は62%である。現在までに三刀屋木次IC周辺から雲南市木次町里方までの1.7kmが4車線開通している。

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、今後（県）稗原木次線～（市）要害1号線の4車線開通を予定している。

**施設の構造や工法の変更等**

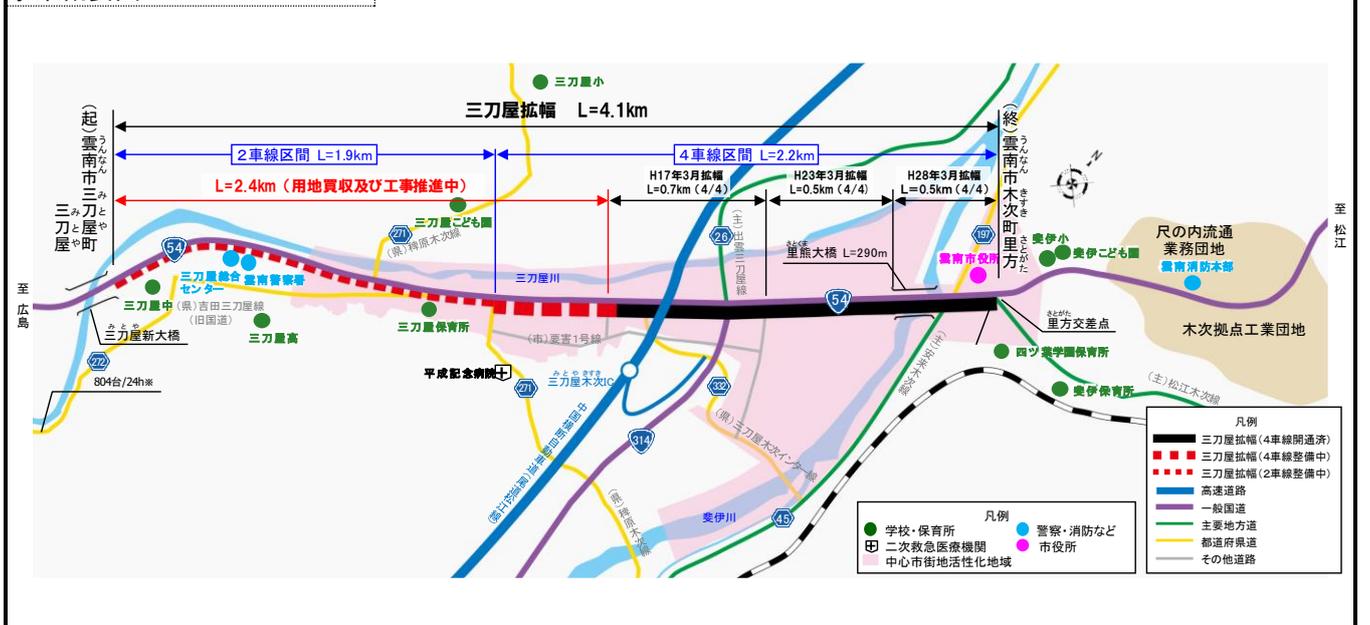
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 **事業継続**

**対応方針決定の理由**

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

**事業概要図**



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。